

經濟論叢

第七十卷 第六號

金融論特集

預金通貨と流動性及び利子 …… 中谷 實 (1)

リカード貨幣信用論の一考察 …… 小野一一郎 (23)

價值及び價值形態の一考察 …… 三上正之 (47)

(昭和二十七年十二月)

京都大學經濟學會

記事

經濟學部

○教授(分枝) 山岡亮一氏は昭和二十七年五月一日付にて經濟學部勤務に轉せられた。

○助教 岸本英太郎氏は昭和二十七年七月二十四日付にて經濟學博士の學位を授與せられた。(論文名「社會政策の根本問題」)

○教授 豊崎稔氏は、英國ケンブリッジ及びオックスフォードで九月一日より六日まで開催された國際經濟學年會に、日本學術會議會員として出席、並びに、ローマ大學、フランス大學、フランクフルト大學において産業都市計画の調査及び産業構造調査のため昭和二十七年八月二十七日羽田空港を出發した。本年十一月末歸國。

○助教 經濟學部) 岡部利良氏は昭和二十七年十月一日付にて教授に昇任され、分校勤務に轉せられた。

○教授 青山秀夫氏は、ロックフェラー財團の奨學生としてカリフォルニア大學に留學、併せて米國に於ける經濟學關係文獻資料の調査、並びに經濟學科に關する教育事情調査のため昭和二十七年十月二十八日羽田空港を出發した。

留學期間は一ヶ年の予定である。

○元教授 谷口吉彦氏、全 石川興二氏は昭和二十七年十月二十九日付にて名譽教授の稱號を授與された。

○教授 出口勇藏氏は、昭和二十七年十月二十九日付にて經濟

學博士の學位を授與せられた。(論文名「經濟學と歴史意識」)

經濟學會

○五月例會 五月十五日(土)午後一時より清風荘において本年度大學院入學歡迎會を兼ね經濟學會例會を開催。

租稅損益に關する一論

——損益に關する會計學的な考へ方——

と題して岡部利良氏の報告が行われ、引續いて歡迎會に移り總積學會長歡迎の辭につゞいて新入學生の謝辭があり、參會者各々自己紹介をかね抱負、希望を述べあい午後四時に散會した。

○六月例會 七月三日(木)午後一時より經濟學部共同研究室において開催された次の報告があつた。

甘土料について

柏尾 昌哉氏

○七、八月は休暇中につき休會

○九月例會 九月二十五日(木)午後一時より經濟學部共同研究室に於いて開催された次の報告があつた。

一、古典學派の價值及び貨幣剩餘價值について
——藤塚知義「アダム・スミス革命」

の所見に關連して—— 三上 正之氏

一、利潤率の傾向的低落法則について 中西 健一氏

○十月例會 十月三十日(木)午後一時より經濟學部共同研究室において開催された次の報告があつた。

一、ベイトンの損益計算論について 酒井 文雄氏
一、スペイン經濟の發達 有富 重尋氏

京都大學教授 中谷 實氏

會員多數の來會を得、眞摯な研究發表と熱心な討論に時の移るのを知らず、午後五時過ぎ盛況裡に閉會した。

○第三日 見學並びに懇親會。本年は修學院離宮を見學。午前十時本學部前を觀光バスにて出發、秋色濃き離宮にて少憩後懇親會場樂友會館に向つた。神戸正雄、谷口吉彦、石川興二の三名譽教授並松岡孝兎元教授を圍み參會者五十余名自己紹介をかね拘負希望を述べあい種々談笑和氣霽々裡に午後五時散會した。

○大会 昭和二十七年年度經濟學會大會は十一月十四・五・六の三日間に亘つて開催せられ、第一日は公開講演會、第二日は研究報告會、第三日は見學並びに懇親會が催された。
○第一日 公開講演會は十一月十四日(金)午後一時より法經第四教室に於て左記順序によつて開催、午後五時盛況裡に閉會した。

一、挨拶 經濟學部長 穗積 文雄氏

一、電源開發問題 關西電力株式會社 社長 太田恒士郎氏

一、わが國中小資本の立場について

大阪市立大學 經濟研究所長 藤田 敏三氏

○第二日 研究報告會は十五日(土)午前九時三十分より法經第十教室に於て左記順序によつて開催された。

一、マルクスのJ・S・ミル批判

關西大學教授 杉原 四郎氏

一、資本論における統計

大阪市立大學助教授 上杉正一郎氏

一、古典派理論における二分法

—— 同次性の公準と、セイの公準 —— 香川大學助手 今川 正氏

一、フランス「百科全書派」の經濟思想

京都大學人文科學研究所 助教授 河野 健三氏

一、ドイツ初期社會主義

山口大學講師 内田 一男氏

一、銀行貨幣と流動性